

まひど



Young Entrepreneurs Group
of the Kyoto Chamber of
Commerce and Industry
1996年3月25日発行
VOL.23 SPRING



5周年記念式典

京都YEGの5周年記念式典が、さる平成7年11月28日に全日空ホテルで開催された。当日は来賓42名 会員168名(OB会12名含む)が参加。併せてビジネス交流部会も開催、今話題のインターネットを題材にした電子紙芝居も上演され参加者はじめ来賓の方々も興味をもって見いっておられた。同時にこの日は臨時会員総会も開かれ次年度会長に新井一樹副会長(大將軍土地社長)と役員39名が選ばれた。

この日に開かれた記念式典には、稲盛和夫京都商工会議所会頭、塚本幸一京都商工会議所名誉会頭、高見清治京都府商工部長、斉藤武夫京都市産業観光局商工部長、田中田鶴子京都商工会議所婦人会会長、京都経済同友会青政研大倉治彦部会長、京都青年会議所小川秀和理事長、全国商青連代会長他多数の来賓がお祝いに駆けつけていただいた。

初めに挨拶した市川会長は「青年部に対する各関係団体にご支援のお礼をのべたあと、さらに、自らの商売を軸にしながら青年部との活動が「商い、人の和、地域貢献」につながるよう努力したい」旨挨拶があった。

次に来賓として、冒頭稲盛会頭は、「青年部の皆さんの地域社会の発展の源泉はまず家業であり、まず家業を隆盛することが第一義」として、「青年部の若い生命力をまずは企業に注入した上で青年部で活躍してほしい」との激励の言葉があった。

つづいて、京都府知事、京都市市長の祝辞を高見商工部長、斉藤観光局長より挨拶があり式典は滞り無く終了した。

式典につづいて祝宴ではまず来賓、そして歴代会長による鏡割りが華やかに行われたあと開宴となった。そして青年部の生みの親である塚本名誉会頭が「5周年を向かえるにあたり感慨無量である。今後若い力と勇気をもってがんばってほしい」とのお祝いの言葉があった。つづいて青年部の歩みを記録したビデオを放映。さらに、時代を先取りする青年部としてまずはコンピューターを利用した、ゲーム。デジタルフェイス(顔ビンゴ)でスタート。豪華な景品に、参加者は多いに盛り上がっていた。

つづいてデジタルトークンと称して会場内と西宮の会場をISDNで接続。今年の夏に開催、参加したわんぱくクラブの子供達との再会を、谷口副会長との久々の再会の場面を舞台スクリーンにリアルタイムに写しだした。音声、設備のパワー不足で少し物足りなかったが、今後のデジタル社会の一面を象徴するにふさわしい内容であった。

この様な多彩な催し物があるなかで最後に歴代会長よりの各部会に対しプレゼントも贈呈。祝宴は無事お開きとなった。これより先に開かれた、臨時会員総会では平成8年度新役員が選任。新会長に決まった新井次年度会長は、「青年部の設立記念日が私の誕生日と同じということで、何かご縁を感じる。今後今まで築いてきた実績を大切に今後の活動に活かしていきたい」との抱負を語った。

西村 清司

5周年記念式典	1	文化交流 花街文化	6・7
臨時会員総会・ビジネス交流プラザ	2	文化交流 国際文化	8
会員家族会	3	全国大会・中央研修会	9
平成7年度部会報告	4	阪神大震災	10・11
平成8年度役員紹介	5	情報スクランブル	12